

読者特典

書籍で掲載している UiPath アクティビティ 一覧

本書で掲載しているUiPathアクティビティの一覧（50音順）
を紹介します。





UiPath アクティビティー一覧

UiPath アクティビティ	機能
[CSVに書き込み (Write CSV)] アクティビティ	指定した DataTable 型変数の中身を CSV ファイルに上書きします。
[Excel アプリケーション スコープ (Excel Application Scope)] アクティビティ	Excel ワークブックを開き、Excel のアクティビティの対象範囲を設定します。このアクティビティが終了すると、ワークブックと Excel アプリケーションが閉じます。
[HTTP 要求 (HTTP Request)] アクティビティ	指定された Web API に対する HTTP リクエストを実行できます。最初にこのアクティビティを [デザイナー] パネルに配置すると、HTTP 要求ウィザードが表示され、要求の作成と、サーバー応答のプレビューを簡単に行うことができます。
[IMAP メールメッセージを取得 (Get IMAP Mail Message)] アクティビティ	指定されたサーバーから IMAP メールメッセージを取得します。
[OCR で PDF を読み込み (Read PDF With OCR)] アクティビティ	指定した PDF ファイルから OCR を使用して文字を読み取り、変数に格納します。
[Orchestrator への HTTP 要求 (Orchestrator HTTP Request)] アクティビティ	Orchestrator API への HTTP 要求を実行します。
[Outlook メールメッセージに返信 (Reply To Outlook Mail Message)] アクティビティ	Outlook を使用して電子メールメッセージに返信します。
[Outlook メールメッセージを取得 (Get Outlook Mail Messages)] アクティビティ	Outlook を使用してメールメッセージを取得します。
[Outlook メールメッセージを送信 (Send Outlook Mail Message)] アクティビティ	Outlook を使用してメールメッセージを送信します。
[PDF のテキストを読み込み (Read PDF Text)] アクティビティ	指定した PDF ファイルから文字を読み取り、変数に格納します。
[PDF にエクスポート (Export To PDF)] アクティビティ	[Word アプリケーション スコープ (Word Application Scope)] アクティビティでのみ使用できます。文書を PDF 形式で出力します。

UiPath アクティビティ	機能
[SMTPメールメッセージを送信 (Send SMTP Mail Message)] アクティビティ	SMTP プロトコルを使用して、メールメッセージを送信します。
[Word アプリケーションスコープ (Word Application Scope)] アクティビティ	Word ドキュメントを開き、Word のアクティビティの対象範囲を設定します。このアクティビティが終了すると、ドキュメントと Word アプリケーションが閉じます。
[アプリケーションを開く (Open Application)] アクティビティ	指定したアプリケーションを起動します。
[アンカーベース (Anchor Base)] アクティビティ	他の UI 要素をアンカー（錨）として使用し、UI 要素を検索するコンテナです。
[1 行を書き込み (Write Line)] アクティビティ	文字列または文字列変数の値を出力パネルに出力します。ワークフローのデバッグ時に使用することが多いアクティビティです。
[一致する文字列を取得 (Matches)] アクティビティ	入力文字列の中で正規表現のすべての出現箇所を検索し、正常な一致をすべて返します。
[ウィンドウをとじる (Close Window)] アクティビティ	指定したウィンドウを閉じます。
[画像をクリック (Click Image)] アクティビティ	UI 要素の中で画像を検索し、画像をクリックします。セクターが使用できない環境で使用することが多いです。
[クエリを実行 (Execute Query)] アクティビティ	データベースに対してクエリを実行し、クエリの結果を DataTable に返します。
[繰り返し (各行) (For Each Row)] アクティビティ	指定した DataTable 型変数が持つ各行について 1 回ずつアクションを実行します。
[繰り返し (コレクションの各要素) (For Each)] アクティビティ	配列、リスト、DataTable、その他のコレクションを順に処理します。
[クリック (Click)] アクティビティ	ボタンやリンクなど、指定した UI 要素をクリックします。任意のマウスボタン操作またはダブルクリック操作を使用するように構成でき、修飾キーと組み合わせた操作も可能です。
[警告音 (Beep)] アクティビティ	スピーカーでビーブ音を鳴らします。
[コレクションに追加 (Add To Collection)] アクティビティ	コレクション変数 (変数の集まり) に新しい要素 (値) を追加します。
[再スロー (Rethrow)] アクティビティ	[トライキャッチ (Try Catch)] アクティビティ内でキャッチした例外を再度発生させます。
[削除 (Delete)] アクティビティ	ファイルを削除します。

UiPath アクティビティ	機能
[シーケンス (Sequence)] アクティビティ	直線的に進んでいくプロセスを記述します。
[重複行を削除 (Remove Duplicate Range)] アクティビティ	指定された範囲の重複した行をすべて削除します。
[条件分岐 (If)] アクティビティ	設定された条件により、後続の処理を分岐します。
[スイッチ (Switch)] アクティビティ	指定されている条件に基づいて、複数のオプションの中から1つの操作を実行できます。
[スロー (Throw)] アクティビティ	任意の例外を発生させるアクティビティです。
[接続 (Connect)] アクティビティ	データベースに接続します。
[切断 (Disconnect)] アクティビティ	データベースから切断します。
[セルに書き込み (Write Cell)] アクティビティ	[Excel アプリケーションスコープ (Excel Application Scope)] アクティビティのコンテナ内で使用します。指定したExcelシートのセルまたは範囲に値を書き込みます。シートが存在しない場合は、SheetName値の名前で新しいシートが作成されます。
[セルを読み込み (Read Cell)] アクティビティ	[Excel アプリケーションスコープ (Excel Application Scope)] アクティビティのコンテナ内で使用します。Excelセルの値を読み取って変数に格納します。
[代入 (Assign)] アクティビティ	変数に値を代入することができます。頻繁に使用するアクティビティです。
[データテーブルを構築 (Build Data Table)] アクティビティ	[データテーブルを構築] 画面で指定したスキーマに従ってDataTableを作成します。
[データテーブルを出力 (Output Data Table)] アクティビティ	DataTableの内容をCSV形式で文字列に書き込みます。
[データテーブルをフィルタリング (Filter Data Table)] アクティビティ	[フィルターウィザード] 画面で条件を指定してDataTableのフィルター処理を実行できるようにします。
[データ列を追加 (Add Data Column)] アクティビティ	指定したDataTableに列を追加します。
[データ行を追加 (Add Data Row)] アクティビティ	指定したDataTableに行を追加します。
[データテーブルを結合 (Join Data Tables)] アクティビティ	2つのテーブルの行を、結合型プロパティで指定された結合ルールに従って結合します。
[テキストを取得 (Get Text)] アクティビティ	指定したUI要素からテキスト値を抽出します。

UiPath アクティビティ	機能
〔テキストをファイルに書き込み (Write Text File)] アクティビティ	指定したテキストをファイルに書き込みます。既存のテキストは上書きされます。
〔添付ファイルを保存 (Save Attachments)] アクティビティ	指定したフォルダーにメールメッセージの添付ファイルを保存します。
〔特殊フォルダーのパスを取得 (Get Environment Folder)] アクティビティ	指定した特殊なシステムフォルダーへのパスを取得します。特殊なシステムフォルダーはデスクトップやユーザープロファイルなどがあります。
〔トライキャッチ (Try Catch)] アクティビティ	アクティビティの中で指定した種類の例外をキャッチし、エラー通知を表示するか、例外を無視して実行を続けます。
〔入力ダイアログ (Input Dialog)] アクティビティ	メッセージを表示しユーザーに入力フィールドを提示するダイアログボックスを表示します。
〔パスの有無を確認 (Path Exists)] アクティビティ	指定したパスが存在するかどうかをチェックします。
〔範囲に書き込み (Write Range)] アクティビティ	DataTable型変数のデータを、[開始セル]フィールドで指定したセルを開始点としてExcelのスプレッドシートに書き込みます。
〔範囲を追加 (Append Range)] アクティビティ	DataTable型変数に格納されている情報を、指定したExcelスプレッドシートの最後に追加します。
〔範囲を読み込み (Read Range)] アクティビティ	Excelの範囲の値を読み取り、DataTable型変数に格納します。範囲が指定されていない場合、スプレッドシート全体を読み取ります。
〔ファイルをコピー (Copy File)] アクティビティ	指定した場所から別の場所にファイルをコピーします。
〔ファイルを作成 (Create File)] アクティビティ	指定した場所にファイルを作成します。
〔フロー条件分岐 (Flow Decision)] アクティビティ	設定された条件により、後続の処理を分岐します。フローチャートワークフローでのみ使用可能です。
〔フローチャート (Flowchart)] アクティビティ	直線的に進んでいくプロセスを記述するシーケンスとは異なり、複雑なビジネスプロセスを記述することが可能です。
〔プロセスを開始 (Start Process)] アクティビティ	指定したアプリケーションを起動します。必要に応じて、引数のリストをアプリケーションに渡すこともできます。

UiPath アクティビティ	機能
[並列 (Parallel)] アクティビティ	複数のアクティビティを並列で実行するためのアクティビティです。
[ホットキーを押下 (Send Hotkey)] アクティビティ	UI 要素にキーボードショートカットを送信します。
[マクロを実行 (Execute Macro)] アクティビティ	[Excel アプリケーションスコープ (Excel Application Scope)] アクティビティのコンテナ内で使用します。Excel ブック内でマクロを実行します。
[メッセージボックス (Message Box)] アクティビティ	指定したテキストが表示されたメッセージボックスを表示します。表示するボタンを選択することが可能です。
[メッセージをログ (Log Message)] アクティビティ	指定したメッセージを指定した重要度レベルで書き込みます。使用できるオプションは、Trace、Info、Warn、Error、Fatal です。
[文字を入力 (Type Into)] アクティビティ	UI 要素にキーストロークを送信します。
[要素を探す (Find Element)] アクティビティ	指定した UI 要素が画面に表示されるのを待って、UiElement 変数として返します。
[リトライスコープ (Retry Scope)] アクティビティ	条件が満たされないかエラーがスローされる限り、含まれているアクティビティを再試行します。
[ワークフローファイルを呼び出し (Invoke Workflow File)] アクティビティ	指定したワークフローを呼び出します。必要に応じて、ワークフローに入力引数のリストを渡すこともできます。